

第1回「富山県防災・危機管理センター（仮称）基本計画検討委員会・幹事会  
合同会議」の開催結果について

1 設置目的

大規模災害や危機管理事案が発生した場合に迅速に初動体制を構築できるよう、専用の災害対策本部室や各機関が活動する施設等を備えた防災拠点の整備を検討するための委員会を設置するもの。

2 概要

- (1) 日 時 平成30年6月14日（木）10時30分～11時50分
- (2) 場 所 富山県民会館611号室
- (3) 出席者 室崎 益輝委員長（兵庫県立大学）ほか委員5名、幹事10名  
（別紙名簿のとおり）
- (4) 議 事 ①防災・危機管理センター（仮称）の整備について  
②防災・危機管理センター（仮称）基本計画（素案）について

3 主な意見等

- ・ 整備にあたっては、長期的な視点から県庁の将来構想を考えながら進めるべき。
- ・ 南別館を改修する場合、松川側のにぎわいや人が誘われる魅力づくりにも配慮すればよい。
- ・ 災害時は、松川側の一方通行を解消するなど、交通アクセス機能も整理すればよい。
- ・ 平時の活用方法が大切。特に、富山県広域消防防災センターとの連携、役割分担を整理し、両輪として活用できるよう工夫すべき。
- ・ 大規模災害等の発生に備えて、できるだけ速やかに整備することが必要。安全が優先。
- ・ 非常時には、県と関係市町村等が円滑に連携できる機能をもった施設となることを期待。緊急時のオペレーション機能についても検討してもらいたい。
- ・ C案を検討すべきといった意見もあったが、コストや工期、県庁の業務執行体制を考慮するとE案（南別館東側での整備）が現実的。
- ・ 今後、情報収集のための設備や関係機関執務室の規模など幹事会で具体的に検討する中で、他の案との比較も整理されたい。

4 今後のスケジュール

6月～8月	幹事会 2～3回 必要な機能・規模、基本計画（案）の検討
8月～	第2回委員会 基本計画（案）の検討
9月～	プロポーザル、基本設計